

刊夕 日六廿月七



定価一部多 二ヶ月五拾銭 郵税五拾銭
 廣告料五拾二文字 一行金五拾銭
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常警毎日新聞社
 印刷所 常警毎日新聞社

子供と清遊 (一)

谷口 安比呂

私の五歳になる男児が、キリスト清風幼稚園に厄介になつてゐる關係上、一日新舞子行をさそはれた。同園では、毎夏自動車隊を組んで、その一里半ばかりの土地に清遊を試みる筈で——兒童の健康のためといふ理由だから、親達は大喜びである。

朝八時半ころ出掛ける。幼稚園集合なので、子供と荷物を親が携帯、何せ年齢前といふものは、手がかる。

既に熱心家が三十人も詰めてゐた。大人と子供半々くらいだが、子供は細かいので、大人のみの運動會のよう。

フライバックに魚類などの臭

気が移つたら酢を少し入れて数分間熱するとよい。待つほどなく自動車隊がくる。もう第一回運送が済んで、これが第二回め、総勢百人近くも居るのだから順次といふ譯……。

ガタンビニューと走り出すと子供らは喜びさわぐ。タクシーだから、乗合みたいにかたビシしない運轉手も丁寧……。

見慣れた町家や道路をあとにすると、やがて縣道に出で、一路坦々、有名な松

◇……◇
 明日の献立
 ◇……◇

【朝】 味噌汁—茄子 小付
 いんげん豆
 【晝】 トーストパン ジャム 果物
 【晩】 冷奴 わさびあへ 鶏肉

並木街道を疾驅する。曇天なれど、夏だから、吹ッ込む風は涼しい……。

縣道から右へ外れると、所謂新舞子街道で、道は狭いが見晴らしは宜い、向ふから空車が戻つて来た、一臺、二臺、三臺——此方で止まると、彼等は横道へ除ける、一臺は足を、ちやない片車を踏み外して……どぶへ、ジャップリ。運ちやん三人、協力して持ち上げ

てたッけ——。我等は間もなく、目的地へついた「さあ来たよ」と言ふと「そうけ」と子供は言ふ。自動車を下りて、更に細

外科

門 專 科 線 光 X
 上田外科醫院
 平町南町
 電話一二九番

味自慢 大衆向……氣分本位の店
 酒の家の喜多八
 平町町丸新デパート
 ◎是非一度御来店を！

開業
 内科一般川井安子
 川井内科診療所
 平町南町六五(舊居)
 電話二四三番

●店員募集
 年齢十五、六才、希望者は至急来店あれ

玉屋洋品店
 平町町通電話六五五番

磐城共済病院 (福島縣平町) (電話六四一番)

小児科	院長 山謙一郎 (電話六四一番)
内科	部長 賀一忠 (電話三七一〇番)
婦人科	部長 五十嵐雄二 (電話三七〇番)
外科	部長 坂本眞一郎 (電話二七二番)
耳鼻咽喉科	部長 本眞一郎 (電話二七二番)
皮膚泌尿器科	部長 前澤正 (電話二七二番)
花柳病科	部長 山謙一郎 (電話二七二番)
X線科	部長 山謙一郎 (電話二七二番)
衛生試験局	局長 高後利雄
藥局	局長 鈴木孝平
事務局長	鈴木寶雄

◎毎日午前八時ヨリ午後十時迄診療
 ◎夜間診療開始(毎夜午後十時マデ)
 ◎病室完備 入院隨意

耳鼻咽喉科専門
 鈴木醫院
 醫學士 鈴木正男
 平町町(電話五八番)
 藤田女學校前
 入院のお需めに應ず
 自炊の便あり

夏!!!
 道歩く紳士の足もと
 は白靴にかきやく!

A 先づ何よりも白靴
 足も軽けりや心も躍るよ
 B 成程夢をなつかせて黒靴では
 ちよつと……へんだね
 断然安い菊地の白靴一九三四年型に
 すると云つてやつたがね……

既製菊地靴カバン店
 電話六五九番

四丁目驛通り
 ¥1.80ヨリ
 5.00マデ

縣下優勝の

榮譽を擔つて

磐女選手歸る

既報磐女競技部及び庭球部は昨日會津高女に於て開催された縣下大會に出場競技部は三段跳びに野口佐多子さんが九米八八の新記録を挙げたのを筆頭に各種目何れも入賞總得点四十四点の優秀な戦績を示して縣下第一

平商對師範野球觀戰記

何故破れた?

心のゆるみと

疲労から失策

▽第一回 實力以下の惨敗

第一回戦出場といふ不運な籤を引いてスタートを危ぶまれた平商チームがよく力戦奮闘して會工、田中、磐中、安中を屠り東北豫選出場権を握つて意氣軒昂たりしに拘らず何故最後の争覇のこの一戦に福師チームの猛襲に自滅し去つたか?

▽第二回 裏平商二死

ながら赤坂一―一后遊撃右を抜く最初の安打を放ち續いて沼田四球に走者一、二壘、次打者は八番ながら最近非常な當りを見せてゐる強打者森下である、野球のセオリーともいふべし安

而も森下は第三回のトップ打者となり安打を放つてゐるではないか

▽第三回 福師は二死

後遊撃の連失に乗じて二点を先取した、このうら平商は森下の安打と日野四球に無死一、二壘のチャンスに佐々木に強打主義をとらし、て又も無爲に終つた二点をリードされてゐるとは云へ平商のベンチは宜しく定石的に佐々木にバンドをさせ三、二壘のチャンスとして高橋、會澤、森次打者にたのむべきであつた

▽第四回 平商三点を

リードされて一死後森四球に出て鈴木とのヒット。エンド・ランに成功して走者三、二壘により赤坂一飛後沼田四球に二死満塁絶好のチャンスを迎へたにも拘らず又も鈴木投手牽制球に刺れてしまつた、かくして

▽第六回 赤坂投手の

疲労を觀破した福師は猛打を浴せ加へて遊撃佐々木のタムリエラーの連出と高橋左翼手の匍球に對する處置のまずさから一擧六点を擧げて合計十点、大勢を決し福師吉田投手は味方の優勢とバックの好守に援けられて後半見違へる様な好投ぶりを示し五回以後は平商の乗ずる隙を與へずさし、も打撃を誇る平商ナインも殆んど三者凡退を繰り返す始末で遂にシャットアウトを喫した、結局は守備の優秀がこの決勝戦を福師に恵んだもの、へ様向は島主

審の戦評に依れば

この試合は兩軍ともダブルヘッダーのため疲労し、實力以下の試合をした、平商業はこの日午前中に強敵安積中學を敗退せしめ決勝戦に福師に敗れても縣代表として東北豫選に出られるといふ心の弛みと野手の疲労による失策に敗れた、要するに同チームは福師に比し技術より體力の点で劣り實力

東北豫選に

我等の平商

福師と携へて

堂々出場

熱球を展開すること三日石城の野を興奮と感激の嵐の中に埋めた第十三回縣下中等野球大會は終つた我等の平商ナインは決勝戦に於て福師に敗れたりとは云へ準決勝に於て強豪安積を向ふに廻し堂々と快勝、福師と、もに本縣代表として來月一日から仙臺に開かれる東北豫選に出場することになつた

平商庭球部上京

權威者のコーチを受けて

既報平商庭球部選手木田一塚本組、本田一岩本組は過般の縣下大會に惜しくも決勝戦に敗れたが來る八月一日より二日間東京市に於て開催される全國中等學校選手權大會及び八月二十三日より二日間仙臺市に於て開催される關東北中等學校選手權大會前準備の爲め本日平發午前九時一分で上京金

以下の惨敗に甘んじなければならなかつたと見るのが妥當であらう

東北大會

後援方法協議

平商野球後援會で本日午後七時より役員會を開き今大會の決算報告及び東北大會出場に關し後援方法其他を協議する

愈よ切迫した

郡下教員野球大會

一十九日平町三球場で

既報來る二十九日平商及び第一、第三各球場で開催される郡下小學校教員野球大會は愈々切迫したので各校共優勝旗を目指して汗みどろとなつて最後の猛練習中であるが縣下中等學校野球大會の後を受け嫌が上にもフアンの人氣を煽つてゐる何處?昨年優勝した平第一校を始め各校のナインは左の如くである

(投捕一三遊左中右の順)
 (平第一)井上 橋本 松本政 松本正 佐藤 水竹 松崎 横田 上川
 (同第二)海野 渡邊 野

星野のぶ、大柴玉枝、安齋泰、上遠野ミサオ、一之瀬正子、篠山和子、飯塚テフ、阿部トシ子

原 高畑 熊谷 松本
 草野 松本 安藤(同第一)
 三)菱沼 西巻 吉田
 遠藤 大竹 石田 長谷川
 川 山下 三本松(勿來)
 鈴木義 菅野 萬崎 江尻 猪狩 鈴木章 眞船
 本野 高木(入山)鈴木
 武藤 戸村 佐藤 志賀
 武井 新開 高木 瀧川
 (内郷)小野澤 高橋 浦山 松本 大和田 菅原
 佐藤 田子 市川(好間)
 鈴木 加藤 増井 金子
 中山 川島 伊藤 伊藤
 伊 永山(上入遠野聯合)
 吉田 田仲 江坂 榎田
 七島 赤坂 佐藤七 佐藤豊 野木

小麥、菜種とも

郡農會の共販始まる

既報郡農會の本年度第一回菜種及び小麥の共同販賣は昨日午後二時より平農業倉庫で行はれたが菜種は一等品百八俵二等五百廿七俵三等千八百八十三俵等外四百二十三俵合計二千二百四十三俵を入札の結果一等七圓六十六錢二等七圓五十六錢三等七圓四十一錢等外圓廿見た

籠球部

壯途に着く

磐女籠球部は來る二十八日福島女子師範學校グラウンドに於て開催される縣下大會二場の爲め愈々明朝平五

一條侯爵らが 平町で獅子吼

× 經國聯盟主催の時局講演會

磐城經國聯盟支部では平町の在郷軍人國防研究會青年團の後援で本月卅日午後七時より平署會議室で時局に關する大講演會を開くが講師には日本經國聯盟總裁公爵一條實孝氏並に元獨逸駐劄全權大使本多熊太郎氏經國聯盟理事長瓜生喜三郎の三氏と云ふ堂々たる斯界の權威者揃ひで平地方稀に見る大講演會である

珠を弾く

小選手達

けふ第一校に
既報平第一小學校珠算競技會は本日午後二時より同校講堂に於て齋藤訓導係りの下に讀上算をトップに開始されたが各學年の出場選手は左の如く成績は明日發表

- される筈
- (五ノ) 堤克忠、櫻井博、鶴沼功、遠藤好一(同二)
 - 小島弘文、小山田俊夫、小齋廣、中川圭二(同三)
 - 龜山正邦、岩崎廣次郎、小齋宗司(六ノ) 富岡歳雄、市毛美徳、佐々木高滋、菅本進(同二) 會川和三郎、高木四郎、杉本光男、千葉直彦(同三) 木田菊壽、田島秀則、稻島正鈴木武(同四) 高階文二、小林清、三浦貞美、市川勝次(高一ノ) 田中忠太郎、新妻常雄、藁谷公儀、柴田健治(同二) 加藤浩平、小齋新平、塚満旭、武藤金吾(高二ノ) 鷲甚一、蛭田忠吾、大越元高、齋藤幸一(同二) 山野邊芳郎、大森文勝、林貞男、中島利夫

稲の發育が

餘り悪いので

郡農會注意書配布

石城郡農會で最近調査した稲の發育振りは本月十日迄順調だった生育が其後打續く降雨の爲め早稲種は草丈が短く中晩種は莖數少なく何れも發育が非常に悪いので近く左記注意書を各農

- 村に配布すると
- 一、除草を成るべく早く切り上げる事
 - 一、灌漑には冷水を避け深水とし冷水使用の際は排水に萬全を期す事
 - 一、追肥は出穂を遅ら

す慮あ、柄不良でも施さぬ事
一、稻熱病に對しては急速に豫防策を講じ出穂期に一二回四年式過石灰ボルト液を撒布する事

女房が...

突然の家出

平町大町渡邊久四郎の妻ナツ(〇〇)は來月十一日突然家出したが實家の高久村宇古池佐藤忠太郎方にも立廻らぬので本日夫より平署に捜

花火大會の出入

鮫川橋危険に瀕す

青年團員大童で交通整理

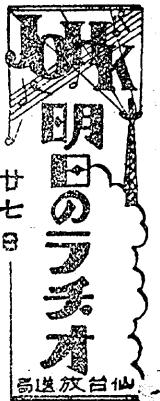
既報植田町青年團主催花火大會は同町鮫川河畔に昨夜午後七時より催されたが最初の試みとして大掛かりな仕掛花火は頗る好評を博したが同夜午後九時頃には出入の最高頂に達し無慮二萬と稱せられ鮫川橋の交通が危険となつたので青年團員が大童で交通整理を行つた程であつたと

三丁目で賭博

三丁目五七古物商岩田愛之助(〇〇)方で昨夜午後十時頃同人初め月見町獸醫志賀邦之助(〇〇)及び田町金成トシミ(〇〇)長橋町鈴木フヨ(五七)の四名が花札賭博中を密行中の平署員に踏込まれ檢舉された

海岸まで御輿

高久村大字下高久鎮座八坂神社



明日のラジオ
今夜も明日も南西の風曇り後晴

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- 後六、二五 講演「臘肋獸の世界的養殖場たる海豹島の奇觀」北大水産専門部教授 時田郎
- 後七、三〇 講演「陸前江の島の海猫」東北帝大教授 學博士 朴澤三二

- 後八、〇〇 人情噺 鈴木主水談 洲樓燕枝
- 後九、〇〇 ビアノと管絃 樂 新交響樂團 練習所より中繼
- 後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組預告

小作人に

政府米貸與

玉川村では全戸數八百八十戸のうち百十四戸の小作人があり最近は大分が毎日の飯米に窮して居る仕末なので村當局は政府米二百八十四俵の拂下げを受けて前記小作人に秋の收穫時迄貸與する事になつた

夏負けの兒童に

平第一校の注意

平第一校では毎年夏期に入ると俗に言ふ「夏負け」の結果から欠席する兒童が多數に上るのでこれが原因をイタミンの欠乏奇生虫の發生、胃腸障害それに神經質の子供にありとし全校兒童に對し豫防法の注意を促す事となつた

女子實業受講

本月廿八日から八日間安積高女に開かれる文部省主催女子實業補習教育講習會に本郡受講者は左記七名と決定した、渡邊作山志計、小名濱武藤ヨシ、内郷大友ハナ、田口つや、萩野ハル、好間仲村たか、大野鈴木とく

篠山校長出張

平第一篠山校長は本日三春小學校に於て開催された縣下小學校長委員會に出席する爲

- 前六、〇〇 講演「我國の體操と保健」仙臺通信診療所長醫學博士 木村小太郎
- 前七、二〇 聖典講義 一加藤咄堂
- 前九、一〇 料理献立 佐藤百合子
- 後〇、〇五 俗曲吹き寄せ 千代松人形
- 後一、〇〇 大阪灣海上警備演習實況 潜水艦襲撃實況 飛行機上並特務艦隊力より中繼
- 後二、〇〇 家庭講座「暑中休暇中の心得」日高勇人

裁判所たより

△内郷村大字内町字金坂四五級坑夫柱夫川村正一(三三)が同僚支柱夫牧野熊太郎の紛失した積立金通帳の再下附を受け百五十圓を騙取した文書偽造行使詐欺事件の公判は本日午前十時より平區裁判所に於いて關口判事係り清田檢事立會の下に開廷事實訊問上檢事より懲役八月を求刑され判事より求刑通り即決言渡があつた

平町人事

- 出生
△仲間町四六 山崎義照氏 三女貞子
- 婚姻
△一丁目一三 吉田彦太郎氏(三〇)泉村宇堀ノ内田子トヨ(二五)
- 回死
△新川町三三横田キノ(三六)
- △三丁目長谷川セイ(六〇)

- 後五、三五 講演「我國の軍用犬に就て」陸軍歩兵大尉 松村千代喜
- 後六、〇〇 子供の時間 齊唱と合唱 JOAK 唱歌隊
- 後六、二五 講演「邦人の海外發展について」拓務局長 高山三平
- 後七、三〇 講演現代日本文化の史的考察 文學博士 藤懸静也
- 後八、〇〇 清元 北州千歳壽清元 壽太夫外
- 後八、三〇 管絃樂上田仁
- 後九、〇〇 掛合噺 傘借り豊年齊海坊主外

- △五丁目片寄弘子(一ツ)
- △材木町二五 當時茨城縣多賀郡松原町字秋山關口哲男(三ツ)

美味! 芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

中村 齒科醫院

平町鍛冶町七

近新立頭

田邊南龍(作)
山本英春(書)

九三

見事に投げた

最も熾んに行はれたのは徳川時代でありました、有名な相撲が度々ありましたのを見て知るべきでございます、さて櫻川、黒鷲取組の續きでございますが

モ一前に疲れて居るから櫻川押出されべき處を其處は一生懸命、また黒鷲勘太夫を押返して来る、そこで水が這入つて双方休息となる見物一同安心をして双方共に引分けとなる、引分けとなれば櫻川が十分の勝でありまして行司もこの相撲が引分けになつてくれれば、無事に相済むから誠に嬉しい櫻川最負、黒鷲最負一同安心してゐると水野十郎左衛門、金時金兵衛、渡邊の綱右衛門なんぞといへる人々が聲を張り上げて

「ヤア分けるなんて卑怯千萬勝負を付けちまへ分けるなら勝負を付けろ」
此方は幡隨院長兵衛、唐犬權兵衛、夢の市郎兵衛、白鬼權太、デックリ清兵衛同じく之れも聲を張り上げて

といふことだ、見物一同

「櫻川ア確かりやれ負けんな櫻川……」
五郎藏は素より覺悟の上だから今更驚くに及ばん、又も双方立上つて控へる、



が追に櫻川そんな手には掛らない、振り拂つて勘太夫の脇の下へ潜つて行き、罌隠しと化粧縮といふ奴を一緒に掴んで、自分の額口を黒鷲の脇腹のところへ當て、力を肩に入れてウンと押し、黒鷲は只一潰しと上から嵩に掛つて押して来ると櫻川は腰が宜いから潰れないうといたしたが、これ亦容易に放すことが出来ません櫻川は落付いて掴まつたきり動かない、大事を取れと

行司が双方の氣合を計つて軍配を後へ引くと

いつたのは此處だ、期うして居れば負けることはない引分けとすれば櫻川の勿論勝ちでありますから黒鷲に掴まつた限り、何うしても放れません。
「櫻川放すな、確かりやれ……」

といふ内にだん／＼黒鷲が疲れた様子だによつて、右の手を出して黒鷲の横三つへ手を掛けやうとする、黒鷲勘太夫はブルブルと腰を振るから、つかまへる事が出来ません、右の手で腰の邊りをピツシヤリリ擲つて張ると、黒鷲の氣合が抜けたところを透かさず、櫻川が腰三つへ手を掛けた。
「しめた／＼」
といふ内にデリ／＼自分の腰を砂へ付やうにして黒鷲勘太夫をかぶらうとする「無理だ／＼、被り切れぬえ」

その中黒鷲の腫が持ちあがつて来る、見物がこれを見て

石炭
コークス
玉炭



阿部石炭商店

電話三七番

晴れても雨でもさせる

晴雨パラソル

新型子供ボ－シ各種

ツルヤ

平四 電話一四〇番

このパラソルは完全に防水加工して御座いますので雨が降つて参りました時は雨傘と兼用となります。御年配向。流行色。各色取揃えました

特色

氷は魚清!!

氷の御用命は

電話四六七番へ

平町二丁目警察署通り

魚清氷卸部

支店 江名町築港内

江名町販賣所

電話六九番

外科

X光線科

性病科

外科

安齊外科醫院

平町田町

電話四七五番

入院隨意

天地に満ちる

青葉のオウ歌

初夏は行け!

野に! 山に! 海邊に!

34年型デラクスセダンで

三井ダクシー

電話六八五番